

東交交第119号
令和5年2月28日

大槌町地域公共交通会議会長 殿

東北運輸局長
(公印省略)

令和4年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について

標記について、東北運輸局において二次評価を実施したので、別紙のとおり二次評価結果を通知します。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 5年 1月25日

協議会名: 大槌町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
<p>大槌地域振興株式会社</p>	<p>【運行系統名】 金沢小鎚線(5系統) 循環線(1系統) 【実施期間】 令和3年10月1日(金)～ 令和4年9月30日(金)</p> <p>利用状況の推移を捉え、運行経路と便数を見直すとともに、利用促進を図るため、自治体広報等を活用した広報を実施するものです。</p>	<p>【前回の評価結果】 (1)一次評価 ・住民や利用者のアンケートやヒアリングによる現状調査では、特に町民バスと県交通バスの乗継について改善の意見が多いことから、それぞれのダイヤ改正に係る連携を強化し、利用頻度の向上、新規利用者の増加を図るため、誰でもわかりやすい時刻表を作成など、運賃収入の増に向けて取り組んでまいります。 また、令和4年10月からの次期計画には、幹線・支線のネットワーク強化や、利用促進を図る取り組みを掲げ、関係機関と連携しながら取り組んでまいります。 (2)二次評価 ・住民アンケートやヒアリングの実施により、絶えず利用者ニーズを把握し、地域公共交通の改善に努めている点を評価します。 ・引き続き、利用しやすい環境作りと地域間幹線との接続性の向上を図っていただくことを期待します。</p> <p>【評価結果の反映状況】 大槌町地域公共交通計画を定めるにあたり、住民ヒアリングやアンケートを実施し、改めて町の公共交通における課題を把握しました。 そして、新たに策定した大槌町地域公共交通計画では、課題を解消する為に、目標を定めました。 現在は、目標達成に向けて、幹線・支線のネットワーク強化、ダイヤ見直しの検討を進めております。 また、公共交通時刻表のデザインも変更し、町民に分かりやすく、利用しやすい町民バスとするため、取り組みました。</p>	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施されました。</p> <p>【評価の判定基準】 A: 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 B: 計画に位置付けられたおりに実施されていない点があった。 C: 計画に位置付けられたおりに実施されなかった。</p>	<p>【目標値】 ①町民バス(路線バス)の収支率を25%以上 ②町民バス(路線バス)の利用者数を年間延べ70,000人以上 【実績値】 ①12.9% ②20,594人 【達成率】 ①51.6% ②29.4%</p> <p>昨年実績と比較すると、収支率、利用者数ともに減少しました。要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛等の影響が大きいと推測しております。また、町内の人口減少や少子高齢化も要因と推測しております。</p> <p>【評価の判定基準】 A: 目標を達成した。 B: 目標達成80%以上100%未満 C: 目標達成80%未満、又は、補助対象外(1運行当たり2人未満、運行割合30%未満)</p>	<p>住民説明会や住民アンケートの結果、公共交通に関して期待する改善点は、「町民バスと県交通バスの接続をよくする」が最も多く挙げられました。そのため、それぞれのダイヤ改正に係る連携を強化し、わかりやすい公共交通時刻表の作成、情報発信など、利用者増加に向けて取り組んでまいります。 また、三陸鉄道を利用しての通学、通勤を促進するため、適宜、ダイヤの見直しを検討し、鉄道との接続についても利用者増加に向けて取り組んでまいります。</p>
<p>二次評価</p>	<p>地域公共交通計画に基づき幹線・支線のネットワーク強化やダイヤ見直しを検討していること、時刻表デザインの改善を実施したことを評価します。一方、数値目標が達成されなかったことについては、新型コロナウイルスや人口減少以外の観点からも分析を加えていただき、今後の施策を検討することを期待します。</p>				